

# いぼがわせせらぎだより

2007年  
(平成19年)  
10月発行

No.29

このニュースレターはホームページでもごらんになれます。

<http://www.iboriver.jp/>

## 今号の主な内容

- 第22回揖保川流域委員会  
審議内容の報告
- 揖保川生物ウォッチング  
揖保川に生息する生物紹介  
オオサンショウウオ  
日本ハンザキ研究所 栃本 武良 委員
- こんにちは、委員です。  
流域委員会メンバーの紹介  
～井下田 猛 委員
- 第6回揖保川流域サミットの紹介



揖保川流域委員会は、「揖保川河川整備計画の案（直轄区間）」の策定にあたり、河川整備計画の原案及び関係住民意見の反映のあり方について意見を述べることを目的としています。

委員会は公開ですので、どなたでも傍聴することができます。また、平成14年3月より開催されている委員会の議事録及び資料は揖保川流域委員会のホームページでごらんになることができます。

<http://www.iboriver.jp/>

表紙の写真は宍粟市一宮町にお住まいの尾前友一さんから寄せられた写真で安積橋付近で撮影された風景です。揖保川は子供達の水泳場となっており、この一帯は清流につき夏場は大勢のアユ釣り客で賑わいます。

## 揖保川流域委員会＊庶務

お問い合わせ窓口



請負者：株式会社 建設技術研究所 中国支社  
 担当：竹内、中野  
 住所：〒732-0052 広島市東区光町 1-13-20 ディア光町  
 電話番号：082-261-3805 FAX 番号：082-261-3740  
 eメール：ibogawa-office@ctie.co.jp





揖保川に生息するいきもの紹介です  
**オオサンショウウオ**



オオサンショウウオの名は、昔はハンザキが標準和名であった。半分に裂いても死なない程の生命力を想像させられるからだろうが、いくら生きている化石でも半分にされたら生きていけない。山陰ではハンザケと呼ばれるが、体に幅いっぱい開く大きな口が半裂けの由来なのだ。

世界最大の両生類として日本特産の水生动物の代表でもある。豊岡の出石川から 400 個体を救出して飼育中だが、そんなに沢山いるなら天然記念物にする必要が無いのではないかという意見もある。しかし、学術的に貴重な動物として 1952 年にワンランク上の特別天然記念物に指定されている。市川水系は昔から多産地として知られているが、なぜか揖保川水系の情報が少ない。死体が発見されたり、釣り人からの散発的な情報はあるが、林田川では姫路市立水族館 40 年間にたった 1 件の確認のみであった。

きちんとした調査を実施すれば、多くの個体を確認することが出来るのだろうが川が大きいだけに難しい面もあるだろう。実は調査されていない河川がほとんどなので、人より長寿と考えられ夜の川を歩いて生態調査をしなくてはならないのが最大の難点なのだ。

(写真・文：日本ハンザキ研究所 栃本 武良 委員)

川と人が共生し、魅力あふれる揖保川流域づくりについて考える「揖保川流域サミット」がたつの市龍野町で開かれました。「こどもサイエンスひろば」や「たつのこどもエコクラブ」の活動発表、国土交通省姫路河川国道事務所より「揖保川河川整備計画策定にむけた取り組み」、各市町の揖保川に関する活動について紹介がありました。

「ふるさとの水流とエネルギー」こどもサイエンスひろば  
たつの市では次世代を担うこどもたちが気軽に科学に親しみ、科学技術への関心を高めるための事業として、こどもサイエンスひろばを運営しています。揖保川の水流を利用した「小型水力発電研究開発などを行っています。」

「自然にふれあいながら環境学習」たつのこどもエコクラブ会員  
揖保川で水質調査や水生生物の調査を行っています。きれいな川にするために、自分たちにできることは何なのかを考えたり、これからも揖保川で自然にふれあいながら色々学んでいきたいと思ひます。

「揖保川水系河川整備計画について」  
国土交通省姫路河川国道事務所

揖保川の特徴である丸石河原、河口の干潟環境などを保全しながら、河川の災害を減らすために、揖保川の現状を流域の皆様を知っていただき、今後、おおむね 30 年間の河川整備について意見を伺っていききたいと思ひます。

第 6 回 揖保川流域サミット次第  
～ふるさとの川 揖保川～

- 1 開会
- 2 揖保川流域サミット協議会会長あいさつ
- 3 揖保川流域サミット協議会 特別委員代表あいさつ
- 4 サミット会議出席者紹介
- 5 活動発表
  - ①「ふるさとの水流とエネルギー」こどもサイエンスひろば
  - ②「自然にふれあいながら環境学習」たつの子供エコクラブ会員
  - ③「揖保川水系河川整備計画について」国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
- 6 各市町・団体取り組み紹介
- 7 意見交換
- 8 次回開催代表あいさつ
- 9 閉会

**たつの市**

揖保川は 20 年ほど前、水質汚濁問題がありましたが、処理場の整備により現在では改善されました。また、揖保川ではイカダ下り大会や花火大会などイベントが開催され、市民の憩いの場となっています。

**宍粟市**

森林が川を育み、川が人々の生活に潤いを与えるという視点から、揖保川を環境教育の場として活用しています。またカヌーを生かしたまちづくりを推進しています。

**姫路市**

「網干川まつり」の開催や、揖保川に桜づつみや緑地公園などを整備し、市民の安らぎの場として活用しています。「地域夢プラン事業」では揖保川を大切な地域資源として位置づけ、揖保川を活かした活動を展開しています。

**太子町**

揖保川水系の林田川、大津茂川沿いではジョギングや散歩、サイクリングを楽しむ市民の姿が多く見られます。また地元住民による花を植える活動やイベント盛りだくさんの「岩見用水祭り」の開催など、親しまれるとともに、河川清掃など保全活動も活発に行っています。

**揖保川漁業協同組合**

揖保川を流域住民のみんなの川と位置づけ、組合員によるクリーン作戦、子どもたちによる稚鮎の放流イベントなどを行っています。また、鮎の遡上調査や種苗センターの改修により、安定した鮎の放流を行い、賑わいのある揖保川の再生を目指しています。



各市町・団体の  
取り組み紹介

揖保川流域委員会の  
メンバーを紹介します



井下田 猛 委員  
姫路獨協大学名誉教授  
(環境政策)

「夢物語り、上・中・下  
流域の絆の実現」

大詰めを迎えています揖保川の河川整備計画は、今後 30 年間にわたって実施する河川事業を定めるもので、流域沿川に住み働いている人びとにとって、その実現策が強く求められています。

いま、全国的にはとりわけ上流各地の森林の多くは痩せて荒れはてて劣化し、保水力が低下しています。しかし、「森の恵み」は川の蘇生を着実に招きます。とくに川とのつき合いかたの知恵をみがいて水源をよみがえらせ守ることをベースに、上・中流域と下流域の皆さんが支流を含めて「揖保川は一つ」として流域全体をとらえて、森林や里山の保全などを総合的・体系的に、そして重点

的課題として取り組むことを期待したいものです。

揖保川の場合、上流地域は 65 歳以上の高齢者が半数を占める「限界集落」が多数派ではありません。いまならば、中・下流域の人びととの協同・共生の絆の回復がなされて、自然循環と地域それぞれの個性に富む文化を大事にしつつ、水を養って豊かな環境づくりに鋭意、努力することができます。

河川をトータルにとらえて「流域人びとみんなの力」が結集するとき、30 年後の揖保川は光り輝いて豊かなふるさとの大河として、いついつまでも存在感を示してくれるにちがいありません。

表紙の写真を  
募集しています!

応募方法  
プリントした写真と撮影場所、撮影時期などの説明文を同封し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、揖保川流域委員会の庶務あてに郵送して下さい。なお、応募写真は未発表のものに限らせていただきます。(応募先は表紙に記載)

また、ご応募いただいた写真の一部を流域委員会ホームページでも紹介させていただきます。

※使用させていただく写真の版權、著作権は委員会に帰属するものとし、応募作品は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

